



## ESDに関連した地域学校協働活動の取組について

宇部市教育委員会 社会教育課 井上篤史

宇部市では、学校と地域が連携、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えるまちづくりをめざしています。

平成25年度に、全ての公立小中学校に学校運営協議会を設置しており、保護者や地域の方の意見を学校運営に反映させるため、コミュニティ・スクールを導入し、『地域とともにある学校づくり』を目指して、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりに取り組んでいます。

また、地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、『学校を核とした地域づくり』を目指し、地域と学校が相互にパートナーとして、連携・協働して様々な活動を行う「地域学校協働活動」を進めており、各地区の社会教育推進委員会が、「地域学校協働本部」として、学校と協働して特色ある活動に取り組まれています。

学校に設置される学校運営協議会と、各地区の地域学校協働本部が中心となって、『地域とともにある学校づくり』と、『学校を核とした地域づくり』を一体的に進めています。

そのような中、各地区では、地域の環境課題等に取り組む「地域学校協働活動」もみられるようになっていきます。

ある地区では、中学生からの提案により、地域の方と小中学生が、住みよい地域づくりに取り組もうと、地域の清掃活動を行う中で、小中学生は地域の方にごみの分別について教えてもらうなど環境学習の場にもなっています。



また、他の地区では、中学生が地域のまつりをエコなまつりにしようと、地域に働きかけるとともに、ゴミの減量に向け、ペットボトルを水洗いする容器回収のボランティアとして、まつりに参加するなどしています。



そのほかの取組では、各地区の放課後子ども教室の中で、太陽エネルギーや地球温暖化について学習した後

に、ソーラーカーの工作を行うほか、海洋ごみ問題について、一人ひとりが取り組むことができるリデュース・リユース・リサイクルの3Rを学び、海岸で拾ったごみでペン立ての作成を行うなど、環境について楽しく学べる教室等も開催されています。

今後も、このようなESDに関わる取組事例を積極的に紹介していくとともに、各地区における地域学校協働活動の充実に向け支援をしていきたいと考えています。



## 12月の「かたって銀天」

- 10日(火) テーマ No.3 「高度情報社会をどう生きる」 世話役：盛重 芳文  
場所：シティマンション中山204号 セミナールーム 2F / 時間：17時30分～19時30分
- 14日(土)・21日(土) テーマNo. 2A 「持続可能な世界実現のために」 世話役：浮田 正夫  
場所：銀天エコプラザ 2F 環境図書室 / 時間：14時～16時
- 15日(日)・22日(日) テーマNo. 2B 「なんだか学校に行きたくない」  
世話役：浮田正夫/山崎真里 場所：同上 / 時間：14時～16時
- 21日(土) テーマ No.1 第2回「こころを語る会」生きる力を得るためにこころについて語り合おう 世話役：薄井洋基/三島瑞穂  
場所：宇部フロンティア大学B棟 1階臨床心理実習室・時間13:30～16:00



詳細は、  
かたって銀天 掲載ページ  
[http://ubekuru.com/blog\\_view.php?id=6152](http://ubekuru.com/blog_view.php?id=6152)

※「かたって銀天」申し込み・お問い合わせ先：宇部市まちなか環境学習館(連絡先は下欄記載)

### 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail [ubekuru@gmail.com](mailto:ubekuru@gmail.com)

開館時間 9時～17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 土・日、年末年始(12月29日～1月3日)



HomePage



facebook



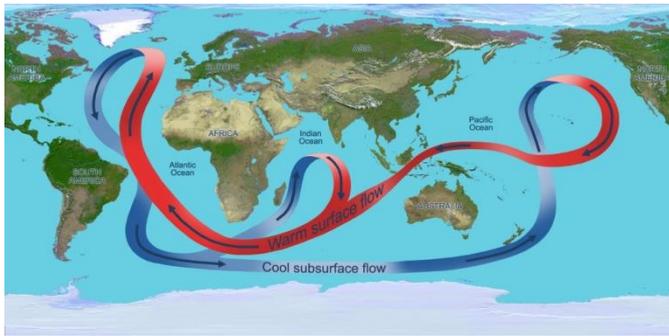
X



NPO法人うべ環境コミュニティ

## 「深層海流」って聞いたことがありますか 宇部志立市民大学(環境-アート学部OB会) 岡田譲二

地球の表面積の7割を占める海にはいろいろな海流があり循環しています。その中で一番重要なのが水深1,000m以下の深層海流です。この海流の特徴は縦にも流れる、つまり重い海水は海底まで落ちて、非常にゆっくりした速度で横に動きます。深層海流の上に各種の海流が乗って地球の隅々まで循環します。これは人間の血液循環とよく似ていると思います。



深層循環概念図

<https://www.oa.u-tokyo.ac.jp/column/trivia/0027/index.html>

まず栄養素の分配ですが海には多くの生物がいます。基礎栄養素がふんだんにあれば、食物連鎖により他の生物も生存できます。もう一つは熱の分配です。暑い所には冷たい海水を運んで行き寒い所には暖かい海水を運んで行く。まるで天然のクーラーのような重要な働きをしてくれているので、夢夢このクーラーが壊れるような事になってはいけません。

次は深層海流のスタート地点ですがグリーンランド付近と南極付近ですが、説明し易さの点で前者について、グリーンランドからスタートした深層海流は南下して南極付近を通り太平洋に出て(この辺から暖くなる)インド洋を過ぎて大西洋に入り、メキシコ湾流となりグリーンランドに帰るコースを繰り返します。この時欧州は側を通る時暖かい海水温の恩恵を受けます。よく言われるパリやロンドンは日本の稚内より緯度が高いのに気温が高いのかの答えになると思います。今までは海水の循環停止は、遥か彼方の話でしたが、このままでは循環停止の時期は、当初考えられていた時期より遥かに短縮され今世紀末位であるという説が有力です。

気候変動の激しさは増すばかり。森林火災、旱魃、水害、風害、だんだんエスカレートしています。程度の差はあれどちらも気候変動です。(以下等を参考<https://www.gizmodo.jp/2024/11/global-catastrophe-looms-as-key-ocean-current-nears-collapse-experts-warn.html>)



## ESDとは。

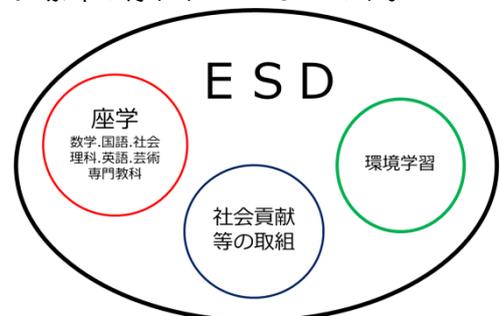
うべ環境コミュニティー 副理事長 大濱進治

ESDと聞いて皆さんは、どのようにイメージしますか？環境学習？持続可能な社会づくりのための教育？どちらも合っているような感じですが、ピントが合っていない気がします。それは、文部省と環境省が同時にESDを推進し始めたからだと思います。環境省の方がESDの宣伝が上手だったのかもしれませんが。その中で私は4年間、文部科学省指定事業でESDの評価規準を作るために学びました。そこで理解したのがESDの真実は、持続可能な社会を作るために必要な人の資質を向上させることだということだったのです。その資質とは、どのようなものなのかを以下に示します。

- ① 批判的に考える力
- ② 未来像を予測して計画を立てる力
- ③ 多面的、総合的に考える力
- ④ コミュニケーションを行う力
- ⑤ 他者と協力する態度
- ⑥ つながりを尊重する態度
- ⑦ 進んで参加する態度

これが7つの資質です。これは、いつもの生活の中で無意識に行っていることなのです。これを意識することでこの資質を定着させていくのです。

①批判的に考える力が分かりづらいので説明しておきます。これは、他人を批判するわけではなく「他人の言うことを鵜呑みすることなく理解する」「理解したうえで自分の意見と違うならコミュニケーションを使って相手に自分の意見を伝える」ということです。この7つの資質向上は、いつもいろいろな活動の中で行っているのだから常に意識し、それを記録することで確実に身に付いていきます。このように日常の座学、環境学習、奉仕活動などいろいろな場で行われているのです。



ESDの中にこのような活動があると考えれば分かりやすいと思います。ESDは資質向上であると再認識してください。そしてその先にSDGsがある訳です。ESDで培った「7つの力と能力」を使って持続可能な社会づくりの「最終17目標」に挑むのです。是非、皆さんもESDを意識して生活してください。必ず見えてくる風景が変わります。